

# 大子 だいが

## 目次

令和2年第3回定例会	2～4
令和元年度決算の認定・ 令和2年第2回臨時会	5～8
新型コロナに関する申し入れ・感謝状贈呈	9
一般質問	10～19
だいが議会だより創刊50周年	20～21
わくわくわたしの夢	22

## 議会だより



シリーズ大子の風景⑱ 「おだげ」 奥久慈大子フォトコンテスト作品から

(表紙の都合上、写真の一部を加工しております。)

## 令和2年第3回定例会

令和2年第3回定例会が、9月2日から11日までの10日間の会期で開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、今回も議員席の一定距離を確保するとともに執行部の出席人数や傍聴席数に制限を設けて行いました。一般質問は全員が30分以内として9人の議員が登壇し、町政全般についての質問が展開されました。

## 令和2年度一般会計補正予算

# 補正額 2億3549万8千円の増額

令和2年度大子町一般会計補正予算（第5号）の主なものは別表のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ126億6881万1千円となります。

また、国民健康保険事業特別会計434万1千円の減額、後期高齢者医療特別会計85万7千円の増額、介護保険特別会計4041万8千円の増額、介護サービス事業特別会計252万1千円の増額、浄化槽整備事業特別会計34万3千円の増額補正がありました。

水道事業会計については、86万1千円の増額のほか、債務負担行為の設定が1件ありました。

### 一般会計補正予算の主なもの

歳 入	補 正 額
国庫支出金	2億1110万円
町債	1918万5千円

歳 出	補 正 額
議会用タブレット導入事業費	240万7千円
職員給与費等	550万6千円
日本郵便と大子町との包括連携事業費	295万2千円
医療機関等事業継続支援金	970万円
大子産米作付支援事業費	1097万6千円
奥久慈りんご配送支援事業補助金	1554万8千円
奥久慈大子蒟蒻作付支援事業補助金	628万6千円
中小企業者事業継続家賃支援金	1070万円
大子町振興公社活動継続支援補助金	5973万6千円



## 第3回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第72号	和解及び損害賠償の額の決定の専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第73号	大子町地域福祉計画策定委員会設置条例	原案可決
議案第74号	大子町職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第75号	大子町手数料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第76号	大子町消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第77号	大子町の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定等について	原案可決
議案第78号	連続フライヤーの取得について	原案可決
議案第79号	大子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第80号	大子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意
議案第81号	令和2年度大子町一般会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第82号	令和2年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第83号	令和2年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第84号	令和2年度大子町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第85号	令和2年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第86号	令和2年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第87号	令和2年度大子町水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
委員会報告 第1号	常任委員会審査報告（予算・決算委員会）	原案可決
議案第88号	令和元年度大子町一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第89号	令和元年度大子町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第90号	令和元年度大子町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第91号	令和元年度大子町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第92号	令和元年度大子町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第93号	令和元年度大子町浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
議案第94号	令和元年度大子町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	原案可決 及び認定
委員会報告 第2号	常任委員会審査報告（総務経済委員会）	原案可決

議案番号	議 案 名	結 果
委員会報告 第3号	常任委員会審査報告（総務経済委員会）	原案可決
委員会報告 第4号	常任委員会審査報告（文教厚生委員会）	原案可決
議員提出議案 第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し 地方税財源の確保を求める意見書	原案可決
議員提出議案 第3号	刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書	原案可決
議員提出議案 第4号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	原案可決
議案第95号	大子町公平委員会委員の選任について	原案同意

## 大子町固定資産評価審査委員会委員に佐久間勝海氏を再任

大子町固定資産評価審査委員会委員の佐久間勝海氏が令和2年10月11日で任期満了となるため、引き続き同氏を選任することに同意しました。任期は令和5年10月11日までです。

## 大子町公平委員会委員に石井收氏を選任

大子町公平委員会委員の高瀬一郎氏が令和2年11月30日で任期満了となるため、後任に石井收氏を選任することに同意しました。任期は令和2年12月1日から令和6年11月30日までです。

## あなたから出された請願・陳情等は

請願・陳情等名	請願・陳情等者	付託委員会	結 果
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	水戸市笠原町 978-46 茨城教育会館 2 F 茨城県教職員組合 代表 杉山 繁 ほか 112 名	文教厚生委員会	採 択
「国に対し『刑事訴訟法の再審規定（再審法）』の改正を求める意見書」の提出を求める請願	水戸市見川 5-127-281 日本国民救援会茨城県本部 会長 田村武夫	総務経済委員会	採 択

※採択された請願・陳情等は、地方自治法第99条の規定により国会及び関係省庁等に意見書を提出しました。

## 令和元年度歳入歳出決算の認定について

令和元年度の予算執行における歳入歳出決算の認定については、今年から**予算・決算委員会**に付託され2日間にわたり審査が行われました。審査の結果、一般会計の主な事業及び決算並びに特別会計・水道事業会計（町長提出議案88号から第94号まで）について**原案のとおり認定**しました。

決算内容は別表のとおりです。

### Q 「予算・決算委員会」とは？

A 町がおこなった事業に対して、正しく予算が使われたかどうかを審査する委員会です。令和2年4月から新しく組織された専門委員会で、齋藤議長を除く12名の議員で構成されており、委員長には野内議員が就任しました。



予算・決算委員会を進行する野内委員長

### Q 「付託」とは？

A 提案された議案を審査するために、議長が「専門委員会で詳しく調査してください」と依頼することです。

今回依頼（付託）を受けた予算・決算委員会は、事業を担当した課等から説明聴取をおこなって内容を審査し、委員会で取りまとめた意見（採択）を審査結果報告書として議長に提出しました。

### Q 「原案のとおり認定」とは？

A 委員長から審査結果報告書を受け取った議長は、委員会が出した審査結果を議会全体の意見とすることに賛成か反対か確認するための採決をおこないます。

通常は、賛成多数の場合を「可決」、反対多数の場合を「否決」と言いますが、決算の時には「認定」という言い方をします。

賛成多数の場合は「認定する」、反対多数の場合は「認定しない」と言い、今回は町長から提出されたすべての議案（原案）を認定しました。

## 令和元年度 一般・特別・水道事業会計決算

会 計 別		歳入決算額	歳出決算額
一 般		104 億 1011 万円 3 千円	96 億 2340 万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	23 億 4709 万円 4 千円	22 億 8101 万 1 千円
	後期高齢者医療	2 億 4196 万 8 千円	2 億 3405 万 8 千円
	介護保険	26 億 4503 万	25 億 3988 万 4 千円
	介護サービス事業	815 万 7 千円	815 万 7 千円
	浄化槽整備事業	1 億 394 万 2 千円	1 億 380 万 5 千円
※水道事業会計	収益的収支	5 億 1721 万 4 千円	4 億 1900 万 6 千円
	資本的収支	9026 万 5 千円	1 億 7365 万 1 千円

※資本的収入が資本的支出に対し不足する額 8338 万 5 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1024 万円、当年度分損益勘定留保資金 7326 万円で補てんしました。

## 予算・決算委員会の流れ

### 本 会 議

本会議

議員定数の半数以上の議員の出席が必要です



議案提出

町長または議員が議会に提出します



議案理由説明

提出した議案について説明します



委員会付託

予算や決算に関することは予算・決算委員会に割り当てられます



### 予算・決算委員会

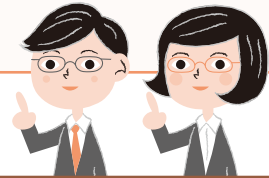
質疑・審査

議案について質疑を行い詳しく審査(調査)します  
※監査委員は決算認定の審議から除かれます。



採 決

委員会としての賛否を決定します



### 本 会 議

委員長報告

委員会での決定を委員長が報告します



質 疑

報告に対する質疑を行います

※予算・決算委員会報告は議長を除く全員が委員であるため省略しました。



討 論

議員が「賛成」「反対」の立場から意見を述べます



採 決

議会全体としての賛否を出席議員の過半数で決定します



閉 会

すべての議案の採決が終了すれば閉会となります

## 予算・決算委員会での主な質疑（一部を抜粋して掲載しています）

### 一般会計決算認定

#### ◎歳入

**問** 財政調整基金額の考え方について伺う。

**答** 災害や新型コロナウイルス等の発生もあり、緊急時に取崩しができるように余裕を持つため、現在の基金額である12億円を確保していきたい。

#### ◎総務費

**問** FMだいの放送受信環境を改善するための事業費は128万円であるが、決算額は29万4,000円である。受信困難という家庭もあるが、現状を調査して把握しているのか。

**答** 屋外アンテナ設置の実績は7件。不具合申出があった場合は調査を行って対応した。今後、職員をはじめ、電波受信状況の調査を行う。

**問** タクシー利用助成事業の免許返納者への助成は、4分の3の補助を継続して使っていけるのか。

**答** 現時点では、4分の3の補助利用者に対して、継続していく予定である。

#### ◎民生費

**問** 放課後児童クラブ事業の利用者の推移と今後の展開は。

**答** まいん61人、だいが保育園24人、南中学校35人、合計120名。指導員の確保が課題であり、放課後子ども教室スタッフへの声かけや保育士OBなどの人材確保に努めている。

#### ◎衛生費

**問** 令和元年度は災害があり繰り越された額が大きいが、8億400万円の衛生費の繰越額について伺う。

**答** 台風被災による建物の公費解体費とその運搬・処分費及びし尿収集車の購入費である。

#### ◎農林水産業費

**問** 囲いわなの原材料支給では、効果をどのように検証しているか。

**答** 鉄製の囲いわなが2基で、2頭の捕獲があった。

#### ◎商工費

**問** 奥久慈大子まつりは中止だったが387万円の支出の内容は。

**答** 台風により直前での中止となったため、準備費用として会議費、事務費、ステージや、出演者謝礼、仮設の電気工事等を含めた事業費、広報宣伝費、交通整理費を支出している。

#### ◎土木費

**問** 住宅リフォーム助成金の実績と制度の改善は。

**答** 実績は230件で、限度額を50万円と制度を拡充し、台風被害の方には3年間の助成の縛りを免除している。なお、木造住宅助成金は、地域材を使用し地域の工務店により建てる制度なので、利用者のニーズを調査しながら検討したい。

#### ◎消防費

**問** 決算書に防火水槽の記載がないが、令和元年度は設置がなかったのか。

**答** 3基を目標に隔年計画で行っており、令和2年度に、高柴、大生瀬、川山に設置予定である。

#### ◎教育費

**問** 各学校から要望があったカーテンの交換は行われたか。

**答** 令和2年度に必要なところについて対応したい。

### 特別会計決算認定

#### ◎国民健康保険事業

**問** ジェネリック医薬品の利用促進の効果は。

**答** 国民健康保険では、令和元年8月から令和2年7月までの1年間で約80万円の負担軽減となった。利用率は令和2年4月現在で、79.1%、県内で27位、前年に比べ4.37%増加した。



◎介護保険特別会計

**問** 居宅介護サービス給付費は例年高額になっていが、今後の予想は。

**答** 現状よりも微増すると見込んでいる。都市部では今後65歳以上が増え65歳以下は減っていくが、太子町は両方とも減っていく第3段階的な状況になっている。

◎浄化槽整備事業特別会計

**問** 令和元年度の浄化槽設置数と町全体の設置率はどれくらいか。また、負担割合は。

**答** 年間設置数が55基で全体の設置率は39.5%であり、人槽に応じた加入分担金を負担してもらう。

◎水道事業会計剰余金の処分及び決算

**問** 町全体では年間どれくらいの水が作られ、どれくらいの量が家庭で使用されているのか。また、その割合は。

**答** 令和元年度に作った水（年間配水量）は291万1071立方メートルで、そのうち家庭で使用された水の量（有収水量）は177万5496立方メートルなので、使用率（有収率）は約61%である。

## 〈令和元年度主な事業と事業費〉

● 地方創生推進交付金事業	63万8千円
● 新庁舎建設事業	9854万9千円
● 環境衛生施設整備事業	768万1千円
● 土地改良事業（農林課分）	4059万2千円
● 土地改良事業（建設課分）	289万9千円
● 茶の里公園施設整備事業	532万7千円
● 林道開設改良事業	1653万4千円
● 道路新設改良事業	2億1314万4千円
● 消防施設整備事業	2715万6千円
● 小学校施設整備事業	5028万4千円
● 中学校施設整備事業	3089万2千円
● 公民館・コミュニティセンター整備事業	2612万7千円
● 第74回国民体育大会推進事業	419万1千円

## 令和2年第2回臨時会

令和2年第2回臨時会が7月16日に開催され、町長から提出された議案4件について原案どおり可決されました。

## 第2回臨時会 提出議案と審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第68号	学習用ノートパソコンの取得について	原案可決
議案第69号	公用バスの取得について	原案可決
議案第70号	令和2年度太子町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第71号	令和2年度太子町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決

### ◆財産の取得について

町が取得しようとしている物品の予定価格が700万円以上の場合は、議会の議決が必要です。



## 町に対し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策に関する申し入れをしました

令和2年10月16日に齋藤議長と金澤副議長が役場町長室を訪問し、新型コロナウイルス感染症拡大防止策に関する申入書を高梨町長に提出しました。

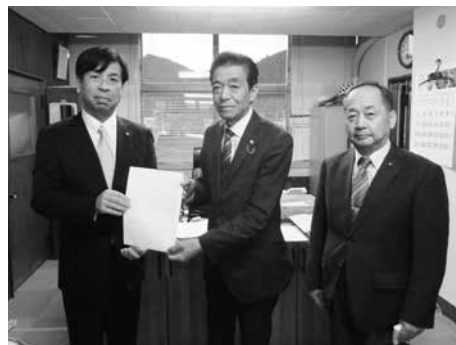
これは、コロナ禍において、議員研修視察を実施することが困難であることから、当該予算を減額して、その財源を新型コロナウイルス感染症対策に活用するよう、議会が町に対して申し入れ（要望）をしたものです。内容は次のとおりです。

### 【申入書】

新型コロナウイルス感染症については、県内では第2波の発生がみられたものの、現在は新たな感染者数は減少傾向にあります。依然として収束の目処がつかない状況です。感染症対策と社会経済活動の両立を図りながら、地域の情勢に合わせた対策を講じていく必要があることは、世界共通の認識だと理解しています。

貴職におかれましては、高齢化率の高い当町の状況を念頭に置き、様々な対策に御尽力いただいておりますことに、心から敬意を表します。

議会活動におきましても、新型コロナウイルス感染症の状況を把握しながら、対策を講じ活動してきたところですが、年度内の県外等への研修視察などは実施が困難と判断したところです。大子町議会では、町民の健康と生命を守り、町民生活の安定や事業者への経済活動のためのさらなる支援策に必要な財源として、議員研修視察にかかる予算を下記のとおり削減することを決定いたしました。つきましては、この財源を活用して、町民ニーズに合った新型コロナウイルス感染症対策をされるよう申し入れます。



### 記

- 1 議会費のうち議員研修視察にかかる旅費及び借上料 2,254千円

## 感謝状が贈呈されました

永年にわたり町議会議員として町の発展に貢献された4名の方に感謝状が贈呈されました。（本人の希望により1名の方は辞退）

8月25日に行われた贈呈式には吉成好信さんと藤田英夫さんが出席され、高梨町長から感謝状と記念品を受け取りました。

- ・吉成 好信さん（在職期間34年8月）
- ・岡田 敏克さん（在職期間9年4月）
- ・櫻岡 義信さん（在職期間8年）
- ・藤田 英夫さん（在職期間5年4月）



## 令和2年第3回定例会

## 町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

## 9人の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
造血幹細胞移植後の助成は 町における小学校の少人数制学級の推進は	P.11	福田 祥江 議員
駅近くに学生の学習場所整備を 奥久慈サイクルツーリズムの進ちょく状況は	P.12	大森 勝夫 議員
避難所や学校に非常食の備蓄を 代替地を含めた消防庁舎の計画的な建設を	P.13	藤田 稔 議員
ペットとの同行避難の推進を 観光誘客につながる『ドッグラン』の整備を 新たな地域資源や歴史財産の発掘を	P.14	飯村 剛 議員
新庁舎建設に関する住民説明会の開催は テレワーク等を実施した効果と問題点	P.15	菊池 富也 議員
ワーケーション推進について 新型コロナウイルス対策の総括と今後	P.16	川井 正人 議員
住民協働による資源ごみ収集の事業化を	P.17	菊池 靖一 議員
産廃の不法投棄に早急な対応を ポナイの森の現状と今後の活用計画は	P.18	中郡 一彦 議員
PCR検査を積極的にすべきでは ルネサンス高校の運営状況は コロナ感染症対策支援金について	P.19	金澤 真人 議員

## 一般質問とは・・・

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進ちょく状況、将来における施策方針等をただすことです。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をただすことはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や施策提言をすることも、議員の重要な権限です。

## スマホで「議会中継」を見ませんか！

定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見るができます。

※一般質問者ページ下部にあるQRコードにより、質問者を検索することができます。



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから



## 問 造血幹細胞移植後の助成は

### 答 20歳未満へ予防接種の助成を整備したい



福田祥江 議員

対して助成を検討したことがあるか伺う。

〔健康増進課長〕平成30年度に他の議員より、成人の骨髄移植を受けた方の再接種の助成はできないか提案があった。当時、県内市町村の助成状況は2つの市が

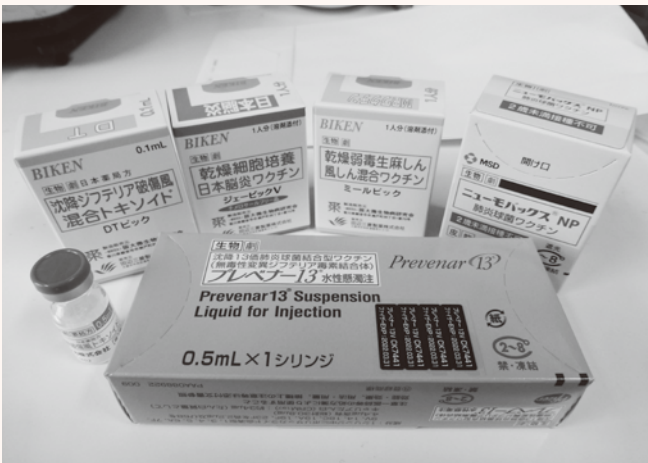
かといって接種しないと、命に関わることになる。町として病気になる方々を助けるために助成の対象にするかを伺う。

〔健康増進課長〕現在、県内で、助成しているのは9市町村であり、対象者は20

〔福田〕造血幹細胞移植は、白血病やリンパ腫など正常な血球を作り出せない状態の血液疾患を治すために行われ、骨髄移植、臍帯血移植、末梢血管細胞移植がある。造血幹細胞移植を受けた方はその移植前に予防接種などで得た免疫力を失ってしまふことになる。そこで、病気が一段落してから再度予防接種を受け直す必要性が出て来るが、これは全額自己負担である。今まで大子町でこの予防接種に

とし助成を始めたばかりであった。提案があった成人の方の助成については、今後の県内市町村の助成状況や国の方針を見ながら考えることとした。

〔福田〕病気になり生命が脅かされている上に、経済的負担も大きくなる。



色々なワクチンを再接種すると自己負担金が10～20万円になることもある

歳未満で主治医が再接種を必要と認める者としてい。20歳未満としている理由は、学校生活において集団化が避けられず集団感染や蔓延の恐れが高いことなどが挙げられている。当町の助成については、まずは20歳未満の再接種者の全額助成を今後整備していきたいと考えている。

## 町における小学校の少人数制学級の推進は

〔福田〕小学校の学級編制は、茨城県では、1、2年生は35人、それ以上の学年は40人である。だいたい小学校では1年生が35人1クラスで教室が大変密になっている。教育関係団体ヒアリングでは「30人学級の完全実施を」との意見が出てい

る。小学校においては、幼児教育から小学校教育への円滑な移行のためなど、少人数制学級が推進されていたところ、現在のコロナ禍

において児童の距離を保つために、町としてさらなる少人数制学級の推進を考えているか伺う。

〔教育委員会事務局長〕令和2年度のだいたい小学校4年生については、少人数学級加配による学級編制の弾力化により、本来1クラスの所、2クラスとしている。来年度以降の町の方針は、茨城県教育委員会が定める学級編制基準に基づき学級編制をしていく。

〔教育長〕だいたい小学校の現在1年生については、児童数が増え来年度は2クラスになる。学級編制には様々な見解が示されているので引き続き注視していく。

〔福田〕児童1人ずつパソコンが整備されると、さらに1人当たりのスペースが必要になると思われる。今後、子どもたちの教育のために、その場で考えられる最善の方法をとって頂きたい。



## 問 駅近くに学生の学習場所整備を

## 答 現施設を有効に活用すべき



大森勝夫 議員

る。

理想的な事例として、土浦駅ビル内のカフェ・コーナーがある。客席の一部を学生の学習空間に指定し、コーヒーを一杯購入すれば、そこで勉強できる。一般席で勉強する学生の姿もあり、その席だと気兼ねなく会話もできる。

できる。しかし、私語禁止の制約はある。個人学習とグループ学習の好みの違いはあると思うので、現施設を有効に活用すべきと考え

【教育長】中学生の場合、

町が民間事例を導入することは無理だろうが、中学生の学習環境の整備は必要だと考える。この課題を町はどうとらえているか。

【教育委員会事務局 局長】町には「まいん」に学習室があり「プチ・ソフエア」でも学習が

【大森】大子清流高校生と議会の懇話会で、学校帰りにグループ学習ができる場所が欲しいとの意見があった。学習室などは私語が禁止され、教えあう会話もできない。友人同士で学習するのに、適切な場所がないと嘆いていた。

人が集い雑談できる場所といえば、例えば大型店のイトイン・コーナーや、県庁の展望ロビーなどで、そのような場所を勉強に利用している学生を見かけ



土浦駅ビル内のカフェ 学習専用席

下校時は学校の管理下なので帰宅途中にどこかで勉強することはできない。

【大森】中学生なら休日利用が想定できる。利用対象者のメインは高校生であり、常陸大子駅近辺に施設があれば、公共交通を待つ間に勉強できる。大子に帰ってきた高校生なら、親の迎えを待つ間に勉強できる。カフェ機能があれば、昼間は観光客や高齢者が待合に利用できる。空き店舗活用の分野で取り組めないか。

【町長】紹介された事例や、官民で取り組む事例も承知している。この課題は、教育と町づくりに関連し、二つの課で協議した答弁である。縦割りを超え、横の連絡をとって議論を重ねる必要があると考えている。

ーリズムの進ちよく状況は。

【観光商工課長】事業の目的は、八溝山や久慈川などの里山風景と奥久慈大子の自然を舞台にサイクリングを楽しむ旅行者の勧誘である。コロナ禍により遅れが生じているが、レンタサイクル事業を10月末までに開始できる運びになっている。

【大森】レンタサイクル事業は、借り手の観光客が、運動後に食事等を行うことで経済効果が期待できる。また、競技志向の愛好家向けに、自転車大会の実施などは町のイメージと知名度向上が期待できる。レジャー性と競技性の異なる分野の指針はどう考えているか。

## 奥久慈サイクルツーリズムの進ちよく状況は

【観光商工課長】自転車愛好者の分類は、健康エクササイズ層、ツーリング層、食を目的としたイベント層に分けられる。エリアやコースの整備、SNSやパンフレットでPRに努め、多くの誘客を目指す。

## 問 避難所や学校に非常食の備蓄を

## 答 学校関係者と協議をしていく



藤田 稔 議員

【藤田】 災害発生時には、各指定避難所において飲み物や食料を含めて十分対応できる備蓄状況か。

【総務課長】 新型コロナウイルス感染症と自然災害時の複合災害に備え、円滑な避難所の開設、運営ができるようにするための訓練を早急に実施するべきではないか。

【藤田】 災害発生時には、各指定避難所において飲み物や食料を含めて十分対応できる備蓄状況か。

【総務課長】 職員の一員を代入しての訓練や一定のマニユアルのような手順が分かるものを残したい。

【藤田】 自宅の2階の浸水の危険がない場所、がけや斜面から離れた安全な場所、親戚や友人宅などへの避難も密を避ける方法であり、町民に周知することが大事であるが。

【総務課長】 9月中旬を目途に、自主防災組織と消防団とが連携をして浸水想定区域、土砂災害警戒区域にお住いの住民世帯に早めの避難などを再度周知していく事業を進めている。

【藤田】 各小・中学校、幼稚園、保育園などへの最低限の水、非常食の備蓄は必要ではないか。

【総務課長】 各避難所の部屋数等施設に差がある。別の公共施設への移送も含めて対応方法を考えている。

【藤田】 訓練に参加出来なかった職員に対しては。

【藤田】 自主防災会への補助金は、均等割一万円、一世帯百円で、訓練や備品の購入、事業などではできない。事業の申請をする

【藤田】 自主防災会

【町長】 自主防災会と消防団の連携の中で何が 필요한のか、どういうスタイルで貢献して行けばいいのか、より深く話し合って頂いたうえで町としても支援、協力して行きたい。

【藤田】 自主防災会

【財政課長】 役場新庁舎建設、衛生センターの復旧を最優先に進めている。個別施設計画の策定を予定している。これに定めた方針に基づき対応して行く。国の防災、減災事業に対する財政支援が手厚くなる可能性もある。消防庁舎等の建設等に備えて、庁舎建設基金に計画的な積み立てを行っていく。

【藤田】 自主防災会

【町長】 消防庁舎は、築40年以上経過している。昨年の台風19号による久慈川の増水では、庁舎前の国道まであとわずかであった。現在、消防庁舎等が浸水想定区域に入り、浸水想定策にかかるとして大子中・だいが小に移動することになっている。町庁舎建設においても、建設基金を設置して進めてきた。代替地を含めて再度考えを伺う。

【藤田】 自主防災会

【町長】 消防庁舎は、築40年以上経過している。昨年の台風19号による久慈川の増水では、庁舎前の国道まであとわずかであった。現在、消防庁舎等が浸水想定区域に入り、浸水想定策にかかるとして大子中・だいが小に移動することになっている。町庁舎建設においても、建設基金を設置して進めてきた。代替地を含めて再度考えを伺う。

【藤田】 自主防災会

【町長】 消防庁舎は、築40年以上経過している。昨年の台風19号による久慈川の増水では、庁舎前の国道まであとわずかであった。現在、消防庁舎等が浸水想定区域に入り、浸水想定策にかかるとして大子中・だいが小に移動することになっている。町庁舎建設においても、建設基金を設置して進めてきた。代替地を含めて再度考えを伺う。



感染症対策を含めた訓練の実施を(8月31日に実施した訓練の様子)

## 代替地を含めた消防庁舎の計画的な建設を

【藤田】 消防庁舎は、築40年以上経過している。昨年の台風19号による久慈川の増水では、庁舎前の国道まであとわずかであった。現在、消防庁舎等が浸水想定区域に入り、浸水想定策にかかるとして大子中・だいが小に移動することになっている。町庁舎建設においても、建設基金を設置して進めてきた。代替地を含めて再度考えを伺う。

【財政課長】 役場新庁舎建設、衛生センターの復旧を最優先に進めている。個別施設計画の策定を予定している。これに定めた方針に基づき対応して行く。国の防災、減災事業に対する財政支援が手厚くなる可能性もある。消防庁舎等の建設等に備えて、庁舎建設基金に計画的な積み立てを行っていく。

【藤田】 自主防災会

# 問 ペットとの同行避難の推進を 答 社会動向、町民の意識を注視



飯村 剛 議員

考えていきたい。

## 観光誘客につながる『ドッグラン』の整備を

【飯村】近年では、やすらぎ、憩いを求める傾向として、ペットに対する需要が高く、同伴旅行や共に遊ぶことができるドッグラン等の整備が推進されてきている。当町は自然環境が豊かなので、広大な敷地も多い。ペットを連れられた観光誘客につながる新たなビジネスとして期待が持てると思うが、町としての考えを伺う。

【観光商工課長】新しい観光需要と捉えている。誘客の効果等は、今後の動向をみて考えていきたい。

【飯村】ドッグランの整備により、有事の際には避難所として活用することが出来ると思うが。

【総務課長】社会情勢をみて考えていければと思う。

## 新たな地域資源や歴史財産の発掘を

【飯村】国や県では、地域活性化の起爆剤として、サイクルング事業に取り組んでいる。当町でも奥久慈里山ヒ

ルクライムルート活用協議会を近隣市町と築いているが当町の役割、関わり方は。

【観光商工課長】本年1月に設立。監事に副町長が就任。目的達成に向けた各事業の取組を推進している。

【飯村】道の駅に、レンタサイクル設置を計画しているが、進捗よく状況及び費用計画はどうかっているのか。

【観光商工課長】10月に事業を開始。1台貸出費は、電動アシスト自転車3000円。ロードバイク（上級者向け）クロスバイク2000円。キッズバイク（子供用）1000円。

【飯村】走行中のトラブルの対応として町内の自転車店と連携を図っていくと思うが、万が一、事故に遭ってしまった場合の保険はあるのか。

検を行い、TSマーク付帯保険で対応する。

【飯村】環境整備はどのように推進していくのか。

【観光商工課長】路面標示や舗装路の補修を県と町で行う。PR等ではSNSを活用し情報の充実を図る。

【飯村】子供たちや高齢者等が町をゆつくりと周遊できる独自のルートを開発すると聞いているが、サイクルリストのおもてなしをどのようにしていくのか。

【観光商工課長】ヒルクライムを含めた7つのルートを紹介している。経済効果を図るため、町民への周知を行い、事業への理解を深めていだけながら向上につながるよう努めていく。

【総務課長】今後の社会動向、町民の意識を注視して

【飯村】災害時において、迅速に避難する必要があるが、人口減少、核家族化に伴い、もはやペットを家族の一員として捉えている方々が置き去りにして避難することは出来ないのではないのか。環境省では同行避難について、自治体と呼びかけをしているが、当町においては救済マニュアルを作成することは考えているのか。



ペットと飼い主の希望を叶える場所『ドッグラン』

【観光商工課長】協力店が整備点



走行中のトラブルに町内の自転車店『サイクルドクター』の存在は欠かせない



## 問 新庁舎建設に関する住民説明会の開催は

## 答 北田気地区説明会は改めて実施



菊池富也 議員

室で行っているが、北田気地区の説明会は改めて実施する予定である。

【菊池】新庁舎関連工事の発注状況と今後の工事予定は。

【総務課長】解体工事は発注し、進入路整備工事を予定している。年度内に本体

工事の発注を、また来年度に外構工事を予定している。

【菊池】本体の設計を木造建築に変更したが、実施設計はできたのか。

【総務課長】

現在、実施設計における詳細図面を作成中。

12月末の完成を予定している。

【菊池】北田気地区内の町道は狭

く、側溝に蓋のない場所が多い。工事が始まれば、車両の通行が増え危険である。対応策はあるか。

【総務課長】建設課と協議し、対応したい。

【建設課長】庁舎建設関連工事の増加に伴い、車両の通行量も多くなり、危険な状況が考えられる。現地確認を実施するとともに関係者間で連携を図りながら進めたい。



解体中の体育館



側溝のない町道

【菊池】建設予定地は、現在グラウンドとして利用されているが、舗装されると雨水処理に問題が出るのではないかと。周囲は住宅地があるので、どのように対応するのか。

【総務課長】敷地の外構設計の中で、側溝の敷設を考えている。今後、更に現地確認と地域住民との協議を基に対処したい。

## テレワーク等を 実施した効果と 問題点

【菊池】町職員が実施したテレワーク、サテライトオフィスの効果は。

【総務課長】通勤時間、休憩時間を家事や育児等に充てることができた。会議の資料・報告書作成等は、集中して業務ができた。また、職場での感染症対策に有効だった。

【菊池】時間外勤務の増加になってはいないか。また、サテライトオフィスの活用

がなされていないのではないか。

【総務課長】通常勤務の中では、住民サービスを優先していることがあり、結果として時間外勤務で補っているということもある。また、サテライトオフィスは、会場が分散していたり職員の休暇等により少人数での体制で対応するなどさまざまな状況があり、誤解を招いたかもしれない。

【菊池】町営施設等の利用について、対応がまちまちではないか。中央公民館関連施設、まいんなど管理施設、ホームページなどの案内が一貫していないと思うが。

【総務課長】オートキャンプ場や憩いの森宿泊施設などの県有施設は茨城県の判断基準により対応しており、町有施設については、高齢化率が高い状況等を考えながら対応している。この表現のの違いについては、誤解のないように今後とも説明する。

## 問 ワーケーション推進について

### 答 移住・定住の足がかりとなる



川井正人 議員

的に定住人口の促進に繋がる。アフターコロナを見据えた非常に重要な施策である。委託事業であるが、達成目標は明確か、また委託した上での町の関わり方は。

【まちづくり課長】 モニターツアーの企画・開催、インフルエンサーの活用、育成セミナーの開催等目標を定めている。また県、町、委託業者で連携し推進する。

【川井】 ワーケーションプランは作成するのか。【まちづくり課長】 今定例会で予算を計上し、茶の里公園の茶室にワークスペースを整備し、サイクリング、りんご狩り、茶摘み体験、キャンプ場での星空観察等のプランを検討している。

【川井】 オリジナルプラン作成のため、積極的にワーケーションを実施している企業を招いた研修等を実施する考えは。【まちづくり課長】 先進的な企業が参画することでワーケーションの誘致に高い効果が期待できる、また魅力あるワーケーションプラン作成は最も重要なものと考えている。

【川井】 ワーケーションの拠点は他市町村との競争で選ばれる施設である必要があり、他市町村との差別化や大子の魅力、交通の便等

たいと考えている。

## 新型コロナウイルス対策の総括と今後

【川井】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業に対して、現時点での総括並びに今後の町民に対する支援策を伺う。

【まちづくり課長】 旧西金小学校は、西金駅等立地面で活用しやすく、趣のある校舎で他の拠点との差別化を十分に図れるが、改修に多額の費用が見込まれ、文化財としての制限があることから慎重に判断していきたい。

【川井】 ワーケーションとは、ワーク（働く）とバケーション（休暇）を結びつけた造語だが、ワーケーションに対しての認識は。【まちづくり課長】 テレワークを活用し観光地などで休暇を楽しみながら仕事をすること、また観光以上移住未済という側面を持ち、移住・定住への足掛かりになるものと認識している。

【川井】 ワーケーションの推進は、観光地の支援、また関係人口を拡大させ最終的に定住人口の促進に繋がる。アフターコロナを見据えた非常に重要な施策である。委託事業であるが、達成目標は明確か、また委託した上での町の関わり方は。



廃校利用の実例（レストラン）



廃校利用の実例（ギャラリー）

【町長】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が創設され、1次申請分として1億1749万5千円が交付され、2次補正予算として3億8780万円が示された。この臨時交付金を有効に活用し、住民生活及び地域経済の早期回復を図り、地域経済を守るため必要な支援や施策の充実を図ってきた。今後長期化の様相を呈しており、高齢化率に沿った策を講じ、農林業や観光の支援、また困難な学校生活を送る子供たちや子育て世代に対しても全庁一丸となって最善の支援をしていく。

# 問 住民協働による資源ごみ収集の事業化を

## 答 積極的に取り組む方には支援する



菊池靖一 議員

率の向上を図るため、これまで「ごみの出し方リサイクルマニュアル」や、お知らせ版等にごみの分別方法、紙やプラスチック類で資源化できるものを掲載して啓発を行ってきた。

今年度は、地域に向いて可燃ごみの減量化及び資源化率の向上に意識をもってもらえるよう働きかける。

【菊池】 町民のごみに対する意識をどう感じているか。

【生活環境課長】 環境問題、ごみの減量化について、意識を高く持っている方もいるが、それぞれ温度差があるのではないかと感じている。

【菊池】 私も同感で、同時に町全体として取り組む力に弱さを感じている。

町長が公約に掲げたまちづくりには、環境問題に対

することはなかったと記憶しているが、水害などにより温暖化対策にも目を向けるようになったのではないかとと思うがトップとしての考えは。

【町長】 ごみの減量化は、一人一人の努力が結集したうえで実る数値なので、今後は、環境問題、ごみ減量の問題にも周知をしっかりとしていきたい。

【菊池】 大子町子育て支援センターでは、家庭で不要になった子供服など、子育てに関するものでまだ使えるものをあげたりもらったりする「おさがりバザール」を行っている。大変素晴らしい活動である。この取組を参考にリユース(再利用)館的なものを考えられないか。

【生活環境課長】 町全体で

総合的に取り組む課題なので、優先順位をよく調査して注視したい。

【菊池】 容器包装プラスチックの拠点回収を地域の集積所まで拡大するための課題は何か。

【生活環境課長】 回収量の増加は期待できるが、専用ボックス・袋そして車両及び人件費などが必要になりコストとの比較で検証が難しい。

【菊池】 環境問題は、多少お金がかかってもやらなければならぬ問題だが、解決策の一つとして、各地区

の集積所からの回収と環境センターまでの運搬を住民協働の活動として事業化できないか。

【生活環境課長】 環境問題に対する意識の醸成と費用負担の軽減になるが、地域の集積所に専用ボックスを配置するスペースがない所が200か所ある。専用の袋を作成するコストや全地区の意思統一が難しいと判断している。

【町長】 民間の方々で積極的に取り組む方がいれば、詳細を詰めながら支援もしていきたい。



地域の集積所に設置された回収ボックス

【生活環境課長】 令和元年度の焼却量は5512トン、資源化率は14・94%で、過去3年の数値と比較するとご指摘のとおり横ばいである。

可燃ごみの減少、資源化



## 問 産廃の不法投棄に早急な対応を 答 関係各機関に救済策を働きかける



中郡一彦 議員

**〔中郡〕** 最近、産業廃棄物の不法投棄が多発している。そして不法投棄された廃棄物は長期間放置されているのが現状である。産業廃棄物の撤去についてはどういったルールのもとで、撤去に向けた手続きがなされていくのか伺う。

**〔生活環境課長〕** 不法投棄の発見通報を受けた時は、現地の状況確認や土地の所有者等の調査を行い、警察署に連絡してパトロールの強化を依頼している。また

県北県民センターの環境保安課に対し情報提供を行っている。投棄物の撤去は、不法投棄行為者を特定し、その者に撤去させるのが原則だが、年々悪質巧妙化している不法投棄者を特定することが難しくなっている。不法投棄者を特定できない時は、不法投棄された土地の所有者または管理者が撤去することになる。

**〔中郡〕** 大変難しい問題だが、一番迷惑しているのは不法投棄された地域の皆さんである。また、観光の町としての印象も良くないと思う。当町として不法投棄物の撤去に向けてスピード感をもった対応ができないか伺う。



産業廃棄物が不法投棄されているアップルラインの道路脇（栃原地区）

**〔町長〕** 不法投棄された側が撤去しなくてはならないという、理不尽な状況にある事は私も理解している。パトロールをしつかり続けながら、関係各機関にも救済策を働きかけていく必要があると思う。

**〔中郡〕** 不法投棄された投棄物のなかには粉碎され内

容物が分からないものもある。有害物質や危険物質などが混入している可能性もあるが、町ではこういった物の分析検査などを行っているのか伺う。

**〔生活環境課長〕** 投棄物のなかには有害物質等が含まれている可能性がある。周辺環境への影響を考慮して内容分析を行う。特に河川などへ流出し環境汚染が懸念される場合などは優先的に行っている。



森林セラピーの拠点として整備を進めるポナイの森

## ポナイの森の現状と今後の活用計画は

**〔中郡〕** つくばの森からポナイの森に名称が変わって3年になる。当初は散策路を整備し森林セラピーの基地として活用するとしてスタートしたが、現状は事業が進展している状況にない。今後の活用計画はどのよう

に考えているのか。また、当初整備した散策路も荒れた状態にあり、修繕すべきだと思うが町の考えを伺う。

**〔まちづくり課長〕** 地方創生推進交付金を活用し整備を進めている。今年度駐車場の整備が完了し引き続き森林セラピーの拠点として活用を図る計画である。また、広大な面積を有しており、他にも有効な活用方法がないか探っていきたいと考えている。また、散策路の修繕は、現地の状況を改めて確認し、実施について検討していきたいと思う。

# 問 PCR検査を積極的にすべきでは

# 答 国は検査体制の拡充を予定している



金澤眞人 議員

## ルネサンス高校の運営状況は

【金澤】ルネサンス高校においては、コロナ感染症の影響の下で実際に登校して授業は行われているのか。

【金澤】PCR検査を気軽に広く受けられるように国や県に働きかけては。

【健康増進課長】指定感染症であり、国の方針の検査体制となっているが、最近の国の動きとして、検査体制の抜本的な拡充が掲げられ、特に感染拡大地域において医療機関や高齢者施設関連者が広く検査を受けられる環境整備に取り組みとされているので、今後の動向を注視する。

## コロナ感染症対策支援金について

【総務課長】学校側から駐車場の整備要望もあり、芝による整備等も含め12月の予算計上を考えている。

【金澤】コロナ感染症対策支援金のひとつである持続化給付金の大口での申請と給付の状況は。

【観光商工課長】国への直接の電子申請なので全体の把握はできないが、国と大子町商工会による申請サポートキャラバン、商工会の支援による申請は合計90件と聞いている。

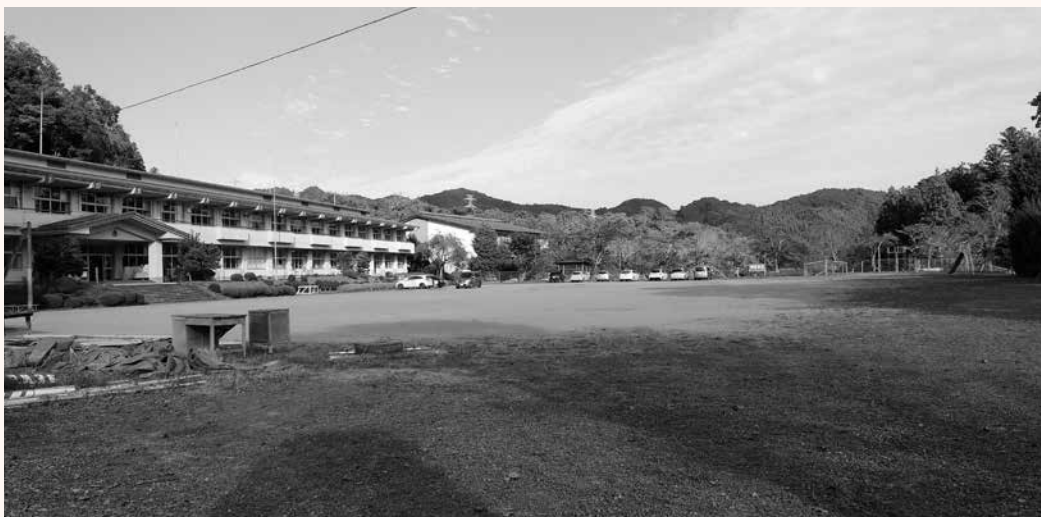
【金澤】いろいろな給付金があるが、併せて申請できるものもあるのか。

【観光商工課長】給付金によって併用できるものと、できないものがある。

【金澤】農業の支援策として高収益作物次期作支援金があるが、現在までの申請と給付の状況は。

【農林課長】8月末の時点では概算で46件、申請額2802万円となっている。支援単価は10アール当たり5万5000円で年度内支払いの予定となっている。

【金澤】様々な支援金や補助金があるが、しっかりと周知され、なおかつ理解されている状況か。



ルネサンス高校に生まれ変わった黒沢小学校

【財政課長】新聞折り込みや広告誌への掲載、ダイレクトメールや個別訪問、SNSなど様々な方法で周知を図っている。



議会だよりの創刊50周年

昭和45年に創刊された議会だよりが今年で50年目を迎え、現在までに203号が発行されました。昭和から平成を経て時代は令和へ。今までに発行した号数の表紙を一部ご紹介いたします。

昭和45年5月創刊(1970年)



No. 8  
「中央公民館建設」



創刊号  
「町議会審議風景」



No. 66  
「台風10号で未曾有の被害を受けた町内」

昭和60年



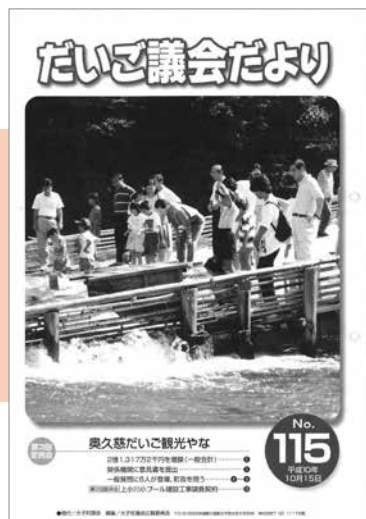
No. 63  
「大子広域公園造成」



No. 40  
「開通した袋田観瀑トンネル」



No. 142  
「グリーンヴィラ開場3周年」



No. 115  
「観光やな」

平成10年



No. 99  
「黒沢地区・黒沢中合同体育祭」





No. 35  
「大子小学校」



No. 20  
「第27回全国植樹祭  
会場造成」



昭和50年

No. 16  
「大子二高造成工事」



No. 90  
「短冊に願いを込めて」



No. 76  
「スタート」



平成元年

No. 74  
「湯の里大橋開通」

50年先の未来へ届けます。  
きたこの想いを、わたしたちも  
50年前からずっと引き継いで



No. 197  
「シンボル靡く」



令和元年

No. 161  
「まいん完成」

— 大子っ子の夢、応援しています —

# わくわく わたしの夢



長く感じていた中学校生活があつという間に過ぎ、気がつけば三年生の半分が終わろうとしています。

僕はエンジニアのような機械に関する職業や原動力に関する職種に関心をもっています。この夢を実現するためには直さなければならない



南中3年 すけがわ あきお 介川 明男 さん

ことがあります。それは、精神面のもろさです。ほんの些細なことでも、すぐに打ち負けてしまつてことがあります。金剛石のような折れることのない精神力をもち、どんなことでも乗り越え、こつこつと努力を積み重ねていきたいと思っています。そして、自分の進学先を決める高校入試に向けて、全身全霊で進んでいきたいと思っています。

## 議会報告会の中止

例年開催している議会報告会は、コロナ禍の影響により今年度は中止します。

## FM放送のお知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。

## 12月定例会 開催予定

- ▽2日(水) 開 会
- ▽3日(木) ～6日(日) 自宅審議
- ▽7日(月) 一般質問
- ▽8日(火) 一般質問
- ▽9日(水) 一般質問
- ▽10日(木) 逐条審議
- ▽11日(金) 逐条審議
- 閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

## 掲載内容の訂正について

令和2年8月5日に発行した「だいでご議会だよりNo.202号」の編集に一部誤りがありました。菊池富也議員からの質問「各種工事の適正な価格に関連した新庁舎建設費用」についての町執行部からの答弁は次のとおりです。お詫びし訂正します。

【訂正後】  
財政課長…解体業務の参加業者については、検討する。  
【訂正前】  
財政課長…検討する。

## 大子町議会 広報委員会

- 委員長 須藤 明
- 副委員長 福田 祥江
- 委員 飯村 剛
- 委員 川井 正人
- 委員 齋藤 忠一
- 委員 金澤 真人

## あとがき

世界中でコロナウイルス感染症が猛威をふるう中、私たちには新しい生活様式・価値観への変換が求められています。それは議会も例外ではなく、感染対策を行いながらの第3回定例会を9月に行いました。

また、大子町における課題は感染症だけではなく、私たちが議員には様々な課題に対して、議会を停滞させることなく議論し対処できる、的確かつ柔軟な対応力が今後さらに求められると思っています。常に町民の皆様と共に、大子の未来を見据えた議会でありたいと思います。これからもよろしくお願いたします。

(福田祥江)